

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Jan 2013.1  
No.1011



本別中央小学校

勇足小学校

仙美里小学校

表紙 ほくたち わたしたち  
へび年生まれ

# 2013

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。新たな希望を胸に、健やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、日ごろより町政運営に特段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

昨年、遅々として進まない東日本大震災の復興や東アジア諸国との緊張の高まり、混沌とした政局による重要施策の遅れなど、憂慮すべき諸課題が山積し、国政の行き詰まりが露呈された一方、ロンドンで開催されたオリムピック、パラリンピックでの日本選手団の大活躍や、日本人のノーベル医学生理学賞受賞など、非常に喜ばしく、同じ日本人として誇るべきニュースにも触れることができ、それによって私たちは勇気づけられ、そして明日への活力ともなりました。

本町では、町民の皆様とともに作り上げた第6次総合計画に即応した施策を精力的に展開し、再生可能エネルギーの推進や企業誘致による地域雇用拡大の実現が見込まれていきます。さらに、民間主導によるまちづくりの気運が大きな高まりを見せ、広大な畑地を利用したイベントで町内外の方々に本別を満喫していただいたり、地元食材をふんだんに利用した地場産品を試作開発したりし、

そして新たな販路の開拓も試みるなど、本別町の魅力発信に大きな成果をあげていただきました。

これらは、これまで進めてきた町内のインフラ整備や各種制度の充実、そして全町を挙げて取り組んできた生涯学習によるまちづくりの貴重な賜物であり、少しずつ、これまでの取り組みが実を結んでいることを肌で感じているところです。このように理想的な協働の姿を見ることができるとは、町民の皆様をはじめ、議会、各種団体等が一丸となった町民力によるもので、それぞれの立場で積極的にまちづくりを進めていただいていることに対し、改めて厚く感謝とお礼を申し上げます。

今後も町民の皆様のご意見と時代のニーズを的確にとらえ、地の利を生かし、皆様の笑顔あふれる、より豊かな生活に向けて確かな礎を築き上げ、さらなる飛躍を目指す決意を新たにいたしました。



新年明けましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

日ごろから議会活動に対し、町民の皆様から多くのご支援をいただいていることに、心からお礼を申し上げます。

一昨年、我が国は未曾有の大災害を経験しました。大きな悲しみを抱えながら、昨年も復興に向け、多くの困難に国を挙げて立ち向かってきたところでもあります。衆議院議員総選挙を終えた今まさに、政治、経済産業、行政、そして環境においても大きな困難に立ち向かわなければならぬと、改めて実感しているところでもあります。復興は、まだ始まったばかり。自らの足元はしっかりと固め、協力を続ける所存であります。

本町の基幹産業である農業につきましては、一昨年末まで天候に恵まれず、3年続けて大きな打撃を受けてまいりましたが、昨年は、本来の収穫を得ることができたと考えているところでもあります。しかし、TPPへの参加問題など、重大な局面を迎えているところでもあります。本町を取り巻く経済状況は、昨年新たな企業の進出も決まり、長く企業誘致を進めてきた効果が出てきた

ものと考えておりますが、全国的に、景況感の改善傾向が見られないことから、町内においても景気は厳しい状況となっております。新年に期するものであります。地方自治体を取り巻く環境が依然として厳しいことから、町民・議会・行政がより一層緊密な関係を築き、情報を共有して、皆様と共によりよい豊かな暮らしを実感できるよう努めてまいりたいと考えております。

議会では、「開かれた議会づくり」を積極的に進めるため、町民懇談会を今年も実施し、皆様から多くの意見をいただきました。積極的なご参加をお願いします。

議会には、「町民が何を望み、何をすべきか」を十分に検証する使命があります。皆様のお考えに對して、効果的な行政運営が行われているかを監視する責務が課せられておりますと共に、町の発展に寄与するという使命を自覚し、皆様とともに学び、支えあい、活力のあるまちづくりに寄与してまいります。

最後になりましたが、新春の門出に当たり、本年が皆様にとって幸多いことを心から願ひ、年頭のごあいさつといたします。



方川 一郎 議長  
Ichiro Katakawa



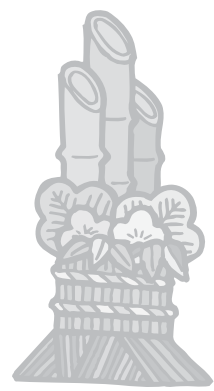
高橋 正夫 町長  
Masao Takahashi

# 迎春



- |             |            |             |
|-------------|------------|-------------|
| 【役場】        | 町長 高橋正夫    | 委員 笠原 求     |
|             | 副町長 砂原 勝   | 【教育委員会】     |
| 【町議会】       | 議長 方川 一郎   | 教育委員長 水谷 令子 |
|             | 副議長 林 武    | 委員 布施 耕一    |
|             | 【総務常任委員会】  | 委員 山下 博志    |
|             | 委員長 方川 英一  | 教育長 中野 博文   |
|             | 副委員長 大住 啓一 | 【選挙管理委員会】   |
|             | 委員 黒山 久男   | 委員長 中川 祐一   |
|             | 委員 戸田 徹    | 委員 木下 英子    |
|             | 委員 林 武     | 職務代理者 小林 信雄 |
|             | 委員 山田 鶴雄   | 委員 十河 透     |
| 【産業厚生常任委員会】 | 【監査委員】     |             |
| 委員長 山西 三三夫  | 代表 畑山 一洋   |             |
| 副委員長 阿保 静夫  | 委員 山田 鶴雄   |             |
| 委員 小笠原 良美   |            |             |

- |             |             |               |           |
|-------------|-------------|---------------|-----------|
| 【公平委員会】     | 委員長 大和田 和盛  | 【固定資産評価審査委員会】 | 委員長 山下 芳久 |
| 委員 矢野 邦夫    | 職務代理者 土藏 啓一 |               |           |
| 委員 新津 直子    | 委員 前田 時男    |               |           |
| 【農業委員会】     | 【社会教育委員】    |               |           |
| 会長代理 佐々木 幸一 | 委員長 三井 孝寿   |               |           |
| 委員 山西 三三夫   | 副委員長 志戸 由美子 |               |           |
| 委員 細田 昇     | 委員 田口 守     |               |           |
| 委員 牧田 安史    | 委員 沼田 久枝    |               |           |
| 委員 今野 公司    | 委員 小川 末男    |               |           |
| 委員 登坂 昇     | 委員 大泉 美智子   |               |           |
| 委員 阿保 静夫    | 委員 岩野 真志    |               |           |
| 委員 友高 裕満    | 委員 北爪 博彦    |               |           |
| 委員 荒 哲弘     | 【本別消防団】     |               |           |
| 委員 川上 茂男    | 団 長 遠藤 利之   |               |           |
| 委員 荒木 幸造    | 副団 長 三井 孝寿  |               |           |
| 委員 風間 進     | 委員 矢野 邦夫    |               |           |
|             | 本団 部長 伊藤 英昭 |               |           |



# 新春

# 夢

# 希望



一人ひとりに個性があり、夢がある。

今の気持ちを忘れずに、

君だけのよさを輝かせよう！

## へび年生まれ

年男、年女になる子供たちは中央小、仙  
美小、勇足小合わせて57人。将来の夢、今年頑張り  
たいことなどを聞いてみました。(敬称略)

### 仙美里小学校

【5年生】

- ☆「いろんな行事や企画に積極的に参加すること！」です。勉強と習い事をせいじつぱいがんばります 岡本玲奈
- ☆夢||自分でかせいで、パリのルーブル美術館に行く&スイーツを食べること！  
加藤明日香
- ☆夢||車屋かプロ野球選手です 五野井 嶺
- ☆夢||画家になりたいです 佐藤ななみ
- ☆夢||新聞記者 塚田 淳
- ☆夢||声優 理由はいろいろな声を出すのが好きだからです 林 歩香

### 勇足小学校

【5年生】

- ☆習字をやっているので、しはんになるよう頑張りたいです 上方 太洋
  - ☆来年は最高学年なので、みんなをひっぱっていけるように頑張りたいです 福田翔子
  - ☆国語をがんばりたいです。りゆうは、かんじががてだからです 古川弘佳
- 【6年生】
- ☆中学生になったら英語と数学をがんばりたいです 宮野由梨

## ぼくたち わたしたち

2013年の干支はへび(巳)。平成13年生まれで今年、  
美里小、勇足小合わせて57人。将来の夢、今年頑張り

### 本別中央小学校

【5年生】

- ☆にがてな科目にチャレンジして、にがてをなくしたいです 江花悠里
- ☆夢||こうむいん 奥村亮介
- ☆ピアノの大会にでたい。陸上の全道大会にでて、決勝にいけるようにがんばりたい 川崎育愛
- ☆夢||ピアノニスト 川崎順未
- ☆野球の十勝大会で良い成績をのこし、全道大会に出場したいです 木南大成
- ☆毎日元気にすごして、みんなとたくさん遊びたい 熊本美花
- ☆苦手な漢字、計算にチャレンジする 倉川萌英
- ☆夢||プロサッカー選手 黒沢賢人
- ☆夢||公務員 佐々木颯太
- ☆ニガテを無くす努力をして、ニガテを一つでも無くせたらいいなと思っています 薩田誠也
- ☆勉強。12さいの水泳タイムをきること 佐藤朱理
- ☆夢||菓さい師 佐藤 佑
- ☆平泳ぎで全道大会に行くこと 志賀明香
- ☆夢||サラリーマン 鈴木翔琉
- ☆夢||ファッションかんけいのやつをやりたい 鈴木見駆
- ☆テニスで本別きようかいに入れてもらうように頑張ります。かた手うちがあんていしたら試合にもでたいです 高野藍加
- ☆頑張りたいことは読書です。冬休みには、むずかしい本やハリポッターをよみたいいです 千代 茜
- ☆夢||野球選手 中村圭吾
- ☆仙台の牛タンを食べたい。山菜採りをしたい。船に乗ってみたい。まつりやでサーモン5皿食い 長屋知晃
- ☆6年生になるので、1年生や下の学年のおてほんになれるようになります 西岡昇凜
- ☆夢||うち園の先生です 二宮 叶
- ☆高学年らしくけじめをつけた2013年をすこす 丹羽隼己
- ☆夢||水泳のコーチになること 羽生乃彩

### 【6年生】

- ☆夢||ほいくえんの先生 広瀬 咲
  - ☆陸上の全道大会で1位になって、全国大会に行く 広瀬 蘭
  - ☆夢||かんごし 古山明日香
  - ☆にがてなことにチャレンジして、にがてをなくす 前川愛莉
  - ☆剣道の大会で良い成績を取ること 前田未郁
  - ☆バトミントンの羽を高く遠くに飛ばせるようにしたい 牧 鈴夏
  - ☆勉強を毎日60分ぐらいやりたい 増田大輝
  - ☆夢||スタントマン 松井 捷
  - ☆夢||バレエ選手 廻淵南那
  - ☆勉強とバスケットをバランスよくがんばりたいです 三浦柚菜
  - ☆夢||たいそうせんしゅ 三浦雪斗
  - ☆野球少年団に入っているから、いつしよいうけんめい練習し、来春に生かしたいです 三上慶一郎
  - ☆走り高とびでもっと高く
  - ☆とべるようにがんばりたい 向井大貴
  - ☆陸上で全道大会に行くこと 森内瑠那
  - ☆最上級生になるので、下級生を引っばっていったらな、と思えます 山西麻生樺
  - ☆夢||バレエ選手、菓さい師、役者 吉川 開
- 【6年生】
- ☆部活などをがんばりたい。
  - ☆音楽がにがてなのでがんばりたい 内田豪志
  - ☆夢||料理するのが好きなので、
  - ☆パティシエになりたいです 大川未聖
  - ☆夢||社長、プロ(サッカー) 岡田幸大
  - ☆勉強にしっかりとついていけるように、
  - ☆頑張りたいです 佐藤良樹
  - ☆夢||画家 戸叶次朗
  - ☆卓球をがんばっていきたいと思います 西村皓成
  - ☆夢||ブライダルスタイリスト 野中柚杏
  - ☆小学校でたくさん思い出をつくって、中学校では、生活に早く慣れるようにがんばる。ピアノのコンクールで全道に行けるように練習をたくさんする 宮崎愛望



## ミッチェルの皆さんの 温かさに触れて

随 行 員  
坂 下 理 沙  
(勇足中学校教諭)



今回の『ミッチェルへ行き隊』の引率者として、歴史ある交流事業の一端を担えたことは、私にとって大変光栄なことです。私達は真心のこもった温かい歓迎を体いっぱいを受けてきました。また、本別の皆さん同様、ミッチェルの方々が本別町との交流をとっても大切に思っていることが伝わって来て、感激いたしました。

生徒達はホームステイの初日、緊張や不安から少々固い表情をしていましたが、ホストファミリーから本当の家族の様に愛情を注がれて、最終日には見違える様に生き生きと、輝いた顔をしていました。地元の学校訪問では日本のゲームを紹介して一緒に遊んだり、授業に参加して英語で交流する機会にも恵まれました。それを通して次第に伸び伸びと打ち解けていく生徒達を見て、確かな成長と交流の成功を実感しました。フェアウェルパーティーでは、感謝の気持ちを込めて自分達で考えた振り付けで歌を披露し、大きな拍手とアンコールを頂きました。

今回の研修では、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感をフルに活用して、オーストラリアを感じ取って来ました。この経験を活かして、生徒達には物事を広い視野で見つめ、心の触れ合いを大切に人間味溢れる大人に成長してくれることを期待しています。

最後に、生徒と共に素晴らしい体験ができたことに感謝し、関わって下さった皆様に厚くお礼を申し上げます。

## ミッチェル訪問を 終えて

第16次ミッチェル訪問団  
団 長 山 下 博 志  
(町教育委員)



今回、第16次の訪問団は、中学生12人と勇足中学校の坂下先生、添乗員の坂本さんと私の15人の訪問となりました。今回の訪問団も前回と同様、中学生だけとなりましたが、坂下先生の指導のもと計9回の事前研修を行い、お互いの結束力と英語力を高めて本別とミッチェルの交流のかけはしになればと出発しました。全行程9泊10日ですが、その中でもミッチェルを訪問しての交流・ホームステイは5日間の日程です。その短い日数の中でどこまで交流ができるかの不安も、市役所での盛大で心温まる歓迎会のおかげで、とてもリラックスして交流に臨む事ができました。団員はそれぞれのホストファミリーとの短い生活の中で、温かさや優しさに触れ、言葉がなかなか通じなくても心が通じあえる事ができるという事を体験した様子で、ホームステイをする事で貴重な経験ができたようです。

このような、素晴らしい5日間を過ごせたのはミッチェル本別姉妹都市協会の皆様やホストファミリーの方々等の真心のこもった温かい歓迎があったおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。また、このような素晴らしい機会を与えてくださいました本別町をはじめとしたすべての方々に感謝するとともに、今後もミッチェルと本別の絆が更に深くなる事を願います。

## 第16次本別町中学生・高校生 オーストラリア・ミッチェル訪問団

# 感動体験記

平成24年11月13日～11月22日

町中学生・高校生国際交流研修派遣事業の訪問団(山下博志団長)の中学生団員12人が、11月13日から22日までの10日間の日程で姉妹都市オーストラリア・ミッチェルを訪れ、ホームステイや学校訪問などで交流を深め、見聞を広めて元気に帰町しました。

11月22日(木)  
成田空港着 午前6時10分  
帯広空港着 午後1時00分  
本別町着 午後3時00分



11月21日(水)  
シドニー自主研修  
(水族館、動物園、  
シドニータワーなど)  
シドニー発  
午後10時20分



11月20日(火)  
ミッチェル発  
メルボルン空港  
シドニー着  
シドニー市内見学  
(オペラハウスなど)

11月16日(金)  
視察研修(自然公園、美術館、動物避  
難施設など)  
11月17日(土)・18日(日)  
ホストファミリーとのフリーデー  
11月19日(月)  
学校訪問交流、さよならパーティー

### ホームステイ

11月15日(木)  
ミッチェル着  
ウエルカム  
パーティー



11月13日(火)  
本別町発 午前10時30分  
成田空港発 午後7時50分  
11月14日(水)  
シドニー着 午前7時25分  
メルボルン着 午後1時05分



# 訪問団員からの感想



## 日本との違い

塚林 光ジョナサン さん (本別中1年)

私は、11月13日から11月22日までミッチェルに行かせてもらいました。

日本との違いが多く見つかりました。例えば学校は1つの大きな建物となっておらず、クラスや学年ごとにわかれていました。その他にも、電子機器(パソコンなど)を授業に使うため、自分のを持ってこることができることなど、日本とは違うところが多く見つかりました。しかし、同じ所もありました。指定服のような物を着ていて、道路が左側通行であった事です。私は、違う国でありながらも、身近なところと同じ事があると感じました。



## オーストラリアに行って

宮本 優姫 さん (本別中1年)

私は今回の訪問で学校生活では学べない事をたくさん学んできました。最初は不安でいっぱいでした。でも実際に行ってみると、とても楽しかったし、ミッチェルの方々も優しくかったので、帰りたくない、また来たいと思いました。今回の訪問で学んだ事を今後の学校生活に生かし、いろんな事に積極的にチャレンジしていきたいと思っています。



## オーストラリアでの8日間

田中 緒人 さん (本別中1年)

オーストラリアで過ごした8日間は、僕にとって一生忘れられない最高の思い出になりました。

ホームステイ先のフォード一家との会話がうまくいかず、少し困った時もありましたが、山下先輩と協力して、楽しいホームステイ生活を過ごせました。また、デービットさん達もとても優しくしてくれて、家族と早くうちとけることができました。自主研修でもみんなで協力し、みんなでシドニーを楽しめたと思います。

今回の研修はぼくの一生涯の宝物です。



## ウェルカムパーティー

餌取 勇吾 さん (本別中1年)

ミッチェルではじめにウェルカムパーティーをしました。ミッチェルの人達は祭のはっぴを着たり緑茶をくれたり、すごく歓迎してくれました。うれしかったです。研修で練習してきた上を向いて歩こうを歌いました。ときどき間違っただけ楽しかったです。みんなホストファミリーと対面したときは、きんちょうしてたけど、その後の立食パーティーでうちとけていました。

この研修に参加させていただいて楽しかったです。



## 10日間の宝物

内田 芽依 さん  
(仙美里中3年)

この10日間は、沢山の人に支えられたからこそできた、とても良い経験でした。オーストラリアのホームステイ先の家族は、私にわかりやすいように動きをつけたり、日本語を入れて話してくれました。「聞き取ろう」「会話をつなげよう」という目標を持って行きましたが、それだけではなく「楽しく過ごすからコミュニケーションをする」ということに気がつき、その日からより楽しくネルソンファミリーと過ごすことができました。

今回の経験は私にとって、宝のようなものです。沢山の人に助けてもらい、支えてもらったこの10日間は、一生の宝物です。そしてまた、ミッチェルに行きたいです。



## 訪問を通して

小川 果蓮 さん  
(本別中2年)

私はこの研修で今までに経験したことのない事をたくさんできました。初めは不安も多かったけど、実際に行くと、とても楽しいことばかりで、ミッチェルの方々もとても親切にしてくれて、行って良かった、まだいたい、また来たいと思いました。

今回、このメンバーで、この訪問ができて本当に良かったです。今後、この訪問で得た事を生かして、様々なことに挑戦していきたいと思っています。

この訪問に関わった皆さん、ありがとうございました。



## 次の目標

志戸田 行訓 さん  
(勇足中2年)

私はホームステイの時の目標として、「ホームステイ先の方々といっしょに会話をし、少し長めの英文を話して耳を英語に慣らせること」という目標のもとオーストラリアでホームステイをしてきました。しかしホームステイ先では文章と呼べないような短い英文で会話をしていました。さらに、すでに習ったことのある英語も聞き取れませんでした。一応自分の伝えたい事は伝えられるのですが、自分から話しかけられなかったことに後悔しました。この悔しさをバネに英語を母国語並みに話せるようになるために勉強をしたいです。



## 大切な思い出

木村 祐也 さん  
(本別中3年)

僕は、今回の訪問では色々な良い体験をしました。最初はとても不安で緊張していましたがホストファミリーの方々と一緒に過ごしていたらいつの間にか楽しくなっていました。看板や新聞紙も全て英語で、しかも周りの人も英語を話しているのを聞いていたのか理解できない状態が続いていましたが少しずつ会話などが理解できるのが実感できて楽しくなりました。さらに、日本とは違う文化を肌で感じる事が出来てとてもよかったです。

10日間という短い期間でしたがとても多くの経験や、たくさんの思い出が出来ました。本当に忘れられない思い出になりました。



## 日本にはない自然との近さ

西村 虎大佑 さん  
(本別中3年)

僕はこの研修で、とても楽しい思い出をつくる事ができました。特にオーストラリアには、日本ではなかなか見る事のできない動物が沢山いて、動物が大好きな僕にとって、オーストラリアは動物の聖地とも言える場所です。そんなオーストラリアで8日間も暮らす事ができて、本当に嬉しかったです。僕は、マクアイロニー家でホームステイをしました。家が街外れのところにあったせいか、野生動物を見る機会が多く、見る事毎日が新鮮でした。また、お父さんのビルは、もう一つ家を持っていて、そこでは海やインコをベランダで眺める事ができました。日本にない、自然に近い生活ができました。とてもいい思い出になりました。



## 最高の10日間

川岸 優太朗 さん (勇足中3年)

今回の訪問は本当に楽しかったです。私はオーストラリアに着いた時、楽しみな気持ちでいっぱいでした。どんどんテンションが上がって、誰とでも握手し抱き合いました。それで一気に不安がなくなりました。私はオーストラリアの人々にとっても感謝をしています。親切に接してくれたこと、いつでも笑顔で会話してくれたこと、本当に幸せでした。ホームステイの方も本当に笑顔で、面白く感謝の気持ちでいっぱいでした。私は今回の訪問をして、もう1度行きたい、お世話になったすべての人に会いたいと心から思いました。私は今回の訪問団が今までで1番最高だと思います。12人で行く最初で最後の旅は本当に素晴らしい旅でした。本当にありがとうございました。



## 言葉は違っても

山下 湧己 さん (本別中3年)

ぼくは、この研修で言葉は違っても伝えようとする心があれば伝わると言うことを学びました。ぼくは、英語がほとんど話せなかったのとにかく笑顔で簡単な英語を組み合わせ身振り手振りなどを使いとにかく必死に伝えようとしたら文法がおかしくても伝えようとする気持ちが届き会話が少しずつできるようになりました。そこでぼくは、言葉は違っても伝えようとする気持ちがあれば伝わると言うことを学びました。それからぼくは、少しずつ自信がつくようになりました。ぼくは、この研修で少しだけ言葉の壁を越えられたような気がします。この旅は、ぼくの一生涯の宝物になりました。



## ホームステイで感じたこと

上方 志歩 さん (勇足中3年)

私は、今回の訪問でたくさんのお話を体験しました。ホームステイでは、英語で話したり日本とは文化が違うので最初は、不安でしたがホストファミリーのステファニーさんは、私にわかりやすいようにゆっくり英語を話してくれました。なので不安はすぐに消えました。この訪問を終えて私は、もっと英語を勉強しておけばよかったと思いました。もっと英語で会話できたのではないかと思います。後悔しています。もし、もう一度行く機会があるなら、後悔しない様に、英語をしっかりと勉強し、またオーストラリアに行きたいです。

# 製材工場

# 本別町に進出



## 道内最大規模の工場を目指す

国産梱包材販売日本一の双日与志本林業（東京都）のグループ企業で、からまつ梱包材生産量日本一を誇る双日北海道与志本（加藤裕司社長、本社＝大空町）と本別町の「本別町進出に関する基本協定書の締結式並びに記者発表会」が11月28日、役場で開かれました。

同社が建設する本別工場（仮称）は、幕別町、平取町、東藻琴村、大樹町に次ぐ道内5番目の工場となり、平成25年11月の操業を目指し、投資予定額は約3億円。従業員は地元からの雇用を含め20人から23人となり、1年間に必要となる原木約3万m<sup>3</sup>も、本別町産を利用する予定です。梱包材の生産量は、1万5300m<sup>3</sup>で、生産額は4億2000万円を見込み、将来的には道内最大規模の工場を目指しています。

会見で加藤社長は、工場建設に本別を選んだ理由を、同社の生産量、販売量を増やしたいという考えと本別町の企業誘致の思いが合致したことを挙げ、「今後安定稼働を図りながら、地域の発展活性化に貢献したい」と抱負を述べ、高橋正夫町長は「本別町は林業とともに歩んできたので万感の思い。まちを挙げて体制を整えたい」と歓迎しました。

### 双日北海道与志本株式会社本別工場（仮称）概要

- 建設地 南地区工業団地
- 敷地面積 約20,000m<sup>2</sup>
- 建物面積 300坪
- 業種 一般製材業
- 営業品目 梱包材、チップ、おが粉、パーク

# 今春、太陽の丘で

# メガソーラー建設正式決定



## 心豊かイクリーンなまちづくり

国内外でメガソーラー発電所開発に力を注ぐ、日本アジアグループ（東京都）傘下のJAG国際エナジー（同）の木村泰宏社長が11月27日、役場で会見し、太陽の丘に道内5か所目となる大規模太陽光発電施設「本別ソーラーウェイ」の建設を、平成25年春にスタートすることを正式に発表しました。

同施設は、平成24年2月に同社グループ企業の国際航業ホールディングスが建設に向けて町と基本合意を結んでいたもので、平成25年夏の稼働を目指しており、一般家庭300世帯分に相当する規模の発電所になります。

完成後は、施設周辺の除草作業などで町内の雇用が見込まれるほか、20年間の土地賃貸契約による土地使用料や設備に対する固定資産税など、町への長期的な収入が確保されます。

木村社長は、本別を建設場所として選定した理由として、日本有数の日射量を誇ることに、本別町からの積極的な働き掛けがあったことを挙げ、「町民の皆さんにも末永くお世話になります」と述べ、高橋正夫町長は、「この施設が、心豊かでクリーンなまちづくりに大きく貢献することを期待しています」と話しました。

### 「本別ソーラーウェイ」開発計画概要

- 建設地 太陽の丘  
（本別町西美里別8番地11）
- 面積 約21,000m<sup>2</sup>
- 出力 981kW
- 太陽光パネル数 6,540枚



会見で完成予想図を手にする高橋正夫町長と木村泰宏社長

# 障がい者週間

## 記念事業



チャレンジド・ネットワークほんべつ（新津和也代表）による、障がい者週間（12月3日～12月9日）に合わせた記念事業が12月8日、さまざまな障がい者団体が参加し、中央公民館で開催されました。

### 障がい者団体一年間の集大成

会場では、つつじの園やインクルード、銀河サロン運営委員会などの、障がい者団体が企画した作品販売や食事会、カフェのほか、障がい者手帳を活用するための



作品販売するつつじの園通所者

学習会やアフリカ太鼓を叩くコーナーなど、盛りだくさんのイベントが展開されました。

この日のメインイベント「創作劇」前に行われた開会式では、新津代表が「今日は、各団体がしっかり準備をして迎えた、一年間の集大成の日です。劇を通して何かを皆さんに伝えられることができれば成功です」とあいさつ。



美味！カレーライス（銀河サロン）

引き続き、発達障がいテーマにした、3部構成の創作劇「自閉症のまま地域で暮らす」が幕を開け、加盟団体を中心に構成された有志の素人役者たちが、自閉症の子どもが周囲のサポートを受けながら、地域で暮らしていく姿を演じ、会場を訪れた約270人が、発達障がいについて理解を深めました。

# ほんべつ学びの日「光風」事業

## 第50回本別町PTA連合会研究大会



第50回本別町PTA連合会研究大会（本別町PTA連合会主催：岡崎眞也会長）が11月25日、「本別町の教育風土に根ざした、人間性豊かな子どもを育てるPTA活動を推進しよう」を大会スローガンに、中央公民館で開催されました。

### 仲間や恩師、北海道のファンに感謝

大会では、元プロ野球選手で北海道日本ハムファイターズ職員の荒井昭吾氏を講師に、「感謝」をテーマとした講演が行われ、荒井氏は自身の野球を始めたきっかけや日本ハムファイターズ入団時の出来事、選手時代の思い出を語ったほか、現在の球団の企業理念なども紹介。その中で、応援してくれた仲間や恩師、北海道のファンへの感謝の気持ちを熱く語りました。

現在は球団職員としてイベント等の企画・運営に携わっている荒井氏ですが、以前は野球教室の指導者として活躍していたことも。講演の最後に設けられた質問時間には、会場に詰め掛けた少年野球の指導者らから「子どもに野球指導する際に気を付けていたことは」など多数の質問が寄せられました。荒井氏は「野球教室では必ず子供たちの目線で、全員に声を掛けるようにしていた」などと答え、会場に集まった教育関係者やPTA会員など約100人が真剣なまなざしで聞き入っていました。





各学校の手作りページ

# HELLO 勇足小学校

## 4月9日 入学式

可愛らしい7人の1年生を迎え、全校児童45人で勇足小学校の平成24年度がスタートしました。

今年の重点は「思いやり」。学習やいろいろな行事に、明るく元気に思いやりの気持ちを持って取り組んでいます。



5月21日～12月18日

## 「人権の花」運動への取り組み



花の栽培を通して、命の大切さを学び、思いやりの心を育みました。「人権の花」写生会にも取り組みました。

7月20日～7月22日

## 立江小学校との交流



徳島県小松島市立立江小児童との交流研修も22回目となります。

今回は訪問の年。5・6年生児童12人は、異なる文化を体感し、交流集会で立江小の子どもたちと友情を深め、海水浴など真夏の徳島ならではの遊びを満喫して、忘れられない思い出をたくさんつくることができました。



5月30日、6月13日・16日

## バードハウス教室への参加



バードハウスの製作と設置を通して、野鳥に親しみを持ち、自然を大切にしようとする意識を高めることができました。

勇足小学校  
ホームページのご案内

児童の活動する様子をホームページでも紹介しています。どうぞご覧ください。  
<勇足小学校だより <http://blog.goo.ne.jp/yutari-els>>

# 本別町農業塾



(右から) 田中組長、高橋町長、増田理事長

めまぐるしく変化する農業情勢やグローバル化に迅速かつ的確に対応できる農業後継者等の育成を目的に、本別町営農指導対策協議会（会長 高橋正夫町長）による本別町農業塾が12月11日、中央公民館で開かれました。参加した町内の農業後継者など約80人は、講演やパネルディスカッションを通して農業の現状や可能性について学びました。

## 農業後継者にエール

1回目の今回は、塾長の高橋町長が、「視野を広げるために夢・希望・現実を語り合いながら、様々な知識を身に付けてほしい」とあいさつした後、増田正二帯広信用金庫理事長が「十勝・本別の農業と地域づくり」をテーマに講演。その中で増田理事長は、「農業も企業」であると述べ、作った作物に付加価値を付けて、少しでも高く販売することや、畑作4品にこだわらず、「新製品の開発」「新分野への進出」「販路拡大」に挑戦してほしいと訴えました。また、そこから雇用が生まれ、地域づくりにつながると強調し、最後に、「本別、十勝、日本のために頑張ってください」とエールを送りました。

引き続き、山下勝十勝農業改良普及センター東北支所長がコーディネーターを務めたパネルディスカッションでは、田中敏行本別町農業協同組合代表理事長と増田理事長、高橋町長がパネラーとなり、それぞれの立場で、本別町農業の現状や農業の可能性について語りました。



### 今後の日程

- ▼第2回  
1月16日（水）午後1時30分  
講義「知らない損する！  
農家の税金と資金繰り」  
講師 砂原会計事務所  
所長 砂原政広氏
- ▼第3回  
2月12日（火）午後1時30分  
講義「私の農業経営  
これまでとこれから」  
講師 芽室町すきつちん  
鈴木由加氏
- ▼第4回  
3月6日（水）午後7時  
講義「本別の若い農家に  
期待すること」  
講師 北海道立農業大学校  
校長 加藤和彦氏



## 相談者の気持ちを 引き出すために

1130

メンタルヘルス研修会（町主催）が11月30日、北海学園大学法学部後藤聡氏を講師に迎え、「あらゆる相談者の心に寄り添うために」をテーマに、健康管理センターで開催されました。後藤氏は何気ない会話を例に、相談を受けた場合に重要な「聴く」「理解する」「受け入れる」の3つの要点について解説。町内の小中学校や企業、団体などから参加した45人は、相談者の気持ちを引き出すためのポイントや受け答えの方法を学びました。



## 昔の学校・ 生活の様子を学ぶ

123

資料館企画展「学校のルーツ展」語り部の会が12月3日、図書館で開かれ、本別中央小学校（岩野真志校長、280人）3年生50人が、昔の「学校の様子や子供たちの生活」について学びました。語り部の会では、本別小学校（現本別中央小学校）卒業生の吉井誠さん（歴史民俗資料館友の会副会長）が、自分の小学3年生だったころの遊びや当時の学級・校舎の写真などを解説。最後はみんなで蓄音機を使い当時のレコードを聴いて、今とは違う音楽を楽しみました。これは、同校の要望により3年生の社会科授業に合わせて実施されたものです。



## クリスマス コンサート

121

本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）の創立30周年を記念した、第25回クリスマスコンサートが12月1日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。23人の演奏者は、2部構成のステージで、クラシックや歌謡曲などアンコールを含め全13曲を披露。第2部では、本別ジュニアブラスアンサンブル（市村心団長）との総勢38人による迫力ある共演のほか、恒例のクリスマスプレゼント抽選会も行われ、来場した約150人の観客は一足早いクリスマス気分を味わいました。



## ぺったんぺったん おもちつき

124

仙美里保育所のおもちつき会が12月4日、同保育所で実施され、22人の子供たちがおもちつきを楽しみました。本別もちつき保存会十五夜会会員の協力を得ながら、子供たちは重たいきねを持ち上げ「よいしょ！」の掛け声に合わせてぺったんぺったんとおもちをつき、つき上がった5臼のおもちにきなこや本別産の納豆などをつけておいしくいただきました。この企画は斉藤井出建設株式会社親睦会（斉藤尚紀会長）の地域貢献活動として行われ今年で8回目。同親睦会からもち米15キロなど食材の提供があったほか、子供たちにおもちもプレゼントされました。



## ジュニアブラスアンサンブル全道大会へ出場

124

北海道小学校スクールバンド連盟十勝支部から推薦され、1月13日に札幌市で開かれる2013年全国小学校管楽器合奏フェスティバル北海道大会第29回全道小学校スクールバンドフェスティバル札幌大会に出場する本別ジュニアブラスアンサンブル（市村心団長）が12月4日、教育委員会を訪れ中野博文教育長に全道大会出場を報告しました。団員らは、「金賞をとれるよう頑張りたい」「他の学校に負けないくらい、いい演奏がしたい」などと抱負を語り、中野教育長は「素晴らしい演奏を披露してきてください」と激励しました。



## 老人ホームにたくさんの人が慰問

12 7・12・14・21

昨年末に多くの人が慰問に老人ホームを訪れました。12月7日には陸上自衛隊第5旅団第5特科隊第1中隊の16人が、窓や蛍光灯拭きなどの清掃を実施し、12日には本別カトリック幼稚園（岩渕つた子園長）の園児43人が、歌や楽器演奏、お遊戯などを披露。14日には本別もちつき保存会十五夜会の会員8人が、入所者と一緒にもちつきをし、21日は本別高等学校吹奏楽部（矢ノ目知恵顧問）の部員4人とボランティア部（篠原弥智顧問）の部員13人がハンドベルや歌などの演奏会を行い、入所者との交流を深めました。



陸上自衛隊



本別カトリック幼稚園



本別もちつき保存会十五夜会



本別高等学校吹奏楽部・ボランティア部

## 食材の大切さと可能性について学ぶ

12 19

本別町農産物ブランドづくり展開事業「地域農産物活用セミナー」が12月19日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催され、農業者や飲食店経営者など約20人が参加し、食材の大切さと可能性について理解を深めました。初めに、食の現状や食材とそれを活かす技術の連携などについて情報提供後、イタリアンレストラン「イルピーノ」川端美枝オーナーが、「地元食材にこだわるワケ」をテーマに講演。川端オーナーは、失敗を繰り返す中で気づいた、「生産



者がわかることで安心できる道内産食材」の大切さについて訴えたほか、料理教室やオリジナル商品の販売、商品開発も手掛ける上での、人的ネットワークの重要性や6次産業化の可能性についても触れました。

## 100歳長寿おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

前田仁さん（共栄）が12月9日に100歳を迎えられることから、一足早い8日に、高橋正夫町長から敬老祝い金7万円と商品券3万円分が贈呈されました。仁さんは大正元年12月9日に本別町で生まれ、家業の農業を営みながら故シゲさんと結婚後、2男3女の子を育て、現在は孫6人、ひ孫9人、やしゃご2人に恵まれました。この日町内温泉ホテルには親戚らによる100歳のお祝いの席が用意され、子供たちや孫など24人と花束やたくさんのプレゼントに囲まれた仁さんは、100歳を迎えて「うれしくて言葉にならない」と涙ながらに語ってくれました。



長生きの秘訣は「暴飲暴食をしないこと」。現在は清流ハウス8で暮らしており、折り紙やパズルなどを楽しみながら元気に過ごしています。

## パトロールで防犯を呼び掛け

12 17

本別警察署（野村泰則署長）と本別町生活安全推進協議会（長谷川隆会長）が連携した歳末特別警戒パトロールが12月17日、町内で実施されました。本別警察署内での出動式で、野村署長が「事件・事故の被害者を一人も出さず、町民の皆さんが輝かしい新年を迎えられるようパトロールをお願いします」とあいさつした後、同署前から警察車両2台と町青パト隊車両4台に続き、2班に分かれた警察署員や自治会自主防犯組織、警友会会員など約70人が徒歩で出発。商店街を中心に、道行く人たちに振り込め詐欺などの注意を促すティッシュや使い捨てカイロを手渡ししながら防犯を呼び掛けました。



## 排雪作業で安全確保

12 17

本別建設業協会（野田仁会長）が12月17日から7日間、町との災害対策業務に関する協定に基づく、町内市街地町道の排雪作業を実施しました。この作業は12月としては近年まれにみる大雪に見舞われたことによるもので、町の要請を受けた同協会の加盟企業は、車の通行や歩行の妨げとなっている雪山を、重機やダンプカーなどを使いきれいに取り除き、安全を確保しました。



## 標語作品 本別中央小3年生 4人が入賞

12 13

「いじめ根絶！メッセージコンクール」（道いじめ・不登校等対策本部、札幌市「ケータイ・ネット」セーフティ推進協議会主催）の標語部門小学校の部十勝管内審査と北海道学び推進月間標語で入賞した本別中央小学校3年生4人の表彰伝達式ならびに表彰式が12月13日、同校で実施されました。入賞者一人ひとりに山端一史十勝教育局長から賞状が手渡され、同コンクールで十勝管内最優秀賞の教育局長賞を受賞した倉川菜英さんは、「受賞できてすごくうれしい」と喜びを語りました。受賞者は次の通り。

（敬称略）

### 【いじめ根絶！メッセージコンクール十勝管内審査】

教育局長賞＝

「いじめられ

つらいときには すぐそうだん」

倉川菜英（3年）

奨励賞＝

「いじめると 心のきずが ふえてくる」

内田安咲（3年）

「助け合い やさしい気持ち 大事だよ」

安久津洸成（3年）

### 【北海道学び推進月間標語】

平成24年度 十勝教育局奨励賞＝

「べんきょうは

ゆめへのみちの だいいっぱ」

高橋 奏（3年）



## 小中学生剣士熱戦

12 9

本別剣道連盟（鈴木清志会長）主催による、第20回十勝東北部少年剣道本別大会が12月9日、町体育館で開催されました。大会には、音更町や幕別町など7町から小中学生剣士約180人が出場。選手らは、気合のこもった掛け声で、積極的に技を繰り出す白熱した試合を展開し、技が決まる度に会場から大きな拍手が送られました。成績は次の通り。

※本別町分（敬称略）

### 【個人戦】

小学生中学年男子の部 第3位＝府川 慧 哉  
中学生男子の部 準優勝＝野崎 将 秀  
第3位＝前田 拳 心  
"＝高橋 昌 也

### 【団体戦】

小学生中学年男子の部 第3位  
中学生男子の部 優勝（Aチーム）  
第3位（Bチーム）



## 勇中生2人 「税についての作文」で表彰

12 12

「中学生の税についての作文」（全国納税貯蓄組合連合会、国税庁主催）で入賞した、勇足中学校生徒2人への表彰伝達式が12月12日、同校で実施され、山田和訓十勝池田税務署長と久能利幸本別青色申告会副会長が、賞状と記念品を手渡しました。この作文には、池田税務署管内の3中学校から59編の応募があり、受賞した生徒らは「このような賞を初めてもらったので、うれしい。これからも税について、もっと知りたい」などと喜びを語りました。受賞者は次の通り。（敬称略）

十勝池田青色申告会連合会

会長賞＝大市 寛 章（3年）

十勝池田地区納税貯蓄組合連合会

佳作＝楠 俊 明（3年）



（左から）山田署長、楠さん、大市さん、久能副会長

# みんなの健康

341

毎年、冬になると「道路が滑るから、なるべく外に出ないよ」にしている」という高齢者の声をよく聞きます。

## 冬こそ介護予防

確かに、ツルツル路面で転んで骨折でもしたら大変!! 歩いたり、トイレに行ったり身の回りのことが自分でできなくなり、活動が制限されることで筋力が低下し、あつという間に「介護が必要な状態」になる可能性が高いです。

しかし、転倒や骨折が原因でなくても「介護が必要な状態」に陥ってしまうことがあります。



例えば「道路が滑るから」と家に閉じこもりがちにな

り、身体を動かす機会が減ることでも身体機能が低下し、筋力が衰えたり骨がもろくなったりするなどの症状を引き起こしてしまいます。

また、単調な生活が続くと脳の機能も低下し「認知症」の原因にもなりかねません。

このような状態に陥ることを予防するために、町では65歳以上の人を対象に「介護予防教室（元いきいき教室）」を実施しています。

教室に通うために、まず「基本チェックリスト」というアンケートを行います。「基本

「基本チェックリスト」は、健康管理センターや地域包括支援センターにあります。日常生活において、これまで出来ていたことが思うようにならなくなってきたり、気がなることがある人はご連絡ください。

地域包括支援センター  
健康管理センター  
健康センター

保健師 本多朝美

# 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたいさんのお腹で生まれ、すくすく育ちます。



新町 戸田 岳志 (みまママ)



栄町 盛 萌夏 (理恵ママ)



山手町 高橋 いつみ (清美ママ)



北3丁目 渡辺 夏七斗 (まどかママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています。

# 銀河ホップダンス

## 足寄町

### 雌阿寒スキーハイキング&スノーシュートレッキング

歩くスキーとスノーシューで、冬の阿寒国立公園雌阿寒温泉・オンネット地区の自然観察と森林浴を体験します。終了後は温泉で休養します。

2月10日(日) 午前10時



※足寄町から送迎バスをご利用の方は、午前9時に足寄町民センター前に集合してください

- 内容 よしもとお笑いスノーシュー (2700、なかやまぎんに君ほか)、耐寒テスト(完全予約制)、しばれ花火、ゴーパーブスターズショー、大抽選会など
- その他 耐寒テストの事前予約は、1月10日(木)~12日(土)の期間で受け付け予定です
- 問い合わせ 陸別町役場産業振興課 2712141 (内線135)。または、しばれフェスティバル実行委員会ホームページ「しばれフェス」で検索してください
- 申込先・詳細 あしよる観光協会 ☎2516131

## 陸別町

### 第32回 しばれフェスティバル

今年も盛りだくさんの企画で皆様をお待ちしております。

2月2日(土) 午後6時~ 3日(日) 午前9時30分

- 内容 よしもとお笑いスノーシュー (2700、なかやまぎんに君ほか)、耐寒テスト(完全予約制)、しばれ花火、ゴーパーブスターズショー、大抽選会など
- その他 耐寒テストの事前予約は、1月10日(木)~12日(土)の期間で受け付け予定です
- 問い合わせ 陸別町役場産業振興課 2712141 (内線135)。または、しばれフェスティバル実行委員会ホームページ「しばれフェス」で検索してください

## ご寄付ありがとうございます

平成24年10月30日から12月17日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町国民健康保険病院人工透析室指定  
電動リモートコントロールベット (3モータースケール付) 1台・プレグラーマットレス1枚・ベットサイドテーブル2組  
..... 北6丁目 丹呉 壽男
- ★本別町国民健康保険病院医療施設整備基金指定  
金50,000円 ..... 北4丁目 国分 綾子
- ★本別町学校給食共同調理場指定  
自家産豚肉 (モール温泉豚もも肉) 40kg  
..... 上本別 有限会社アイネット  
代表取締役 小川 信男  
※親子ふれあい、食べて学ぶふるさと給食の食材として

### 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

- 金30,000円 ..... 埼玉県 久常 薫 (内訳)  
★福祉でまちづくり推進事業 ..... 金15,000円  
★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 ..... 金15,000円
- 金100,000円 ..... 北3丁目 尾崎 澄江 (内訳)  
★福祉でまちづくり推進事業 ..... 金20,000円  
★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 ..... 金20,000円  
★自然との共存・環境保全推進事業 ..... 金20,000円  
★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 ..... 金20,000円  
★本のまち・夢プラン事業 ..... 金20,000円
- 金50,000円 ..... 匿名 (内訳)  
★福祉でまちづくり推進事業 ..... 金10,000円  
★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 ..... 金10,000円  
★自然との共存・環境保全推進事業 ..... 金10,000円  
★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 ..... 金10,000円  
★本のまち・夢プラン事業 ..... 金10,000円

# 本のある暮らし 142

# 新しい年 旅立つ若者へ

## 戸籍のまど

### お誕生

11月後半から  
12月前半の  
届出分

- 岩本 将吾しょうご 太一たいいち 11/8 向陽町
- 谷 七美ななみ 英雄えいゆう 11/25 山手町
- 末下 輝星ひかる 浩史こうし 11/26 緑町
- 松本 望のぞむ 秀規ひさのり 12/4 向陽町

### ご結婚

- (杉本 賢けん 柳町)
- (助川 沙知子さちこ 柳町)
- (富川 寛弘かんこう 南4丁目)
- (中谷 真理まこと 帯広市)
- (河本 農のう 中央小学校)
- (江口 友香ともか 俱知安町)

### おくやみ

- 宮崎 洋子ひろこ 48歳 11/15 勇足元町
- 椿原 安夫やすお 86歳 11/17 錦町
- 高橋 イトいとう 75歳 11/22 錦町
- 今野 雅子みやこ 63歳 11/28 勇足西4
- 山田 武男たけお 88歳 11/30 向陽町
- 大留 叶之かづの 60歳 12/5 向陽町
- 上方 邦夫かつお 77歳 12/8 美蘭別
- 森岡 キクきく 94歳 12/9 向陽町
- 尾崎 英義ひさよし 75歳 12/11 北3丁目
- 庄司 清きよ 84歳 12/12 新町

## わたしたちのまち

前月比  
人口 **8,099人(±0)**  
男 **3,976人(+5)**  
女 **4,123人(-5)**  
世帯数 **3,840戸(+6)**  
〔11月末日住民基本台帳〕

## 若い人に贈る読書のすすめ

出会った1冊が生涯の糧になったという話をよく耳にします。若いときに読書をする事は、後の生き方に必ず大きな実りをもたらします。卒業・新成人・新社会人など新たな一歩を踏み出すあなたにぜひ読んでほしい本を紹介します。

### 聞く力

阿川 佐和子

商談、日常会話にも生かせる「聞く極意」。著者の長年の経験から会話をはずませるコミュニケーション術を披露。2012年のベストセラー。



### ルーズヴェルト・ゲーム

池井戸 潤

社員の夢が詰まっていた野球部が廃部寸前—危機に陥った青島製作所野球部は「奇跡の逆転劇」を見せられるのか。男達の闘いが始まる。



### 七夜物語 (上・下)

川上 弘美

図書館で出会った不思議な本にみちびかれ、夜の世界へ迷いこんでいく。七つの夜をくぐりぬける冒険の行方は……。



### 置かれた場所で咲きなさい

渡辺 和子

「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は下へ下へと根を下ろしましょう」心に和らぎをもたらすメッセージ書。



お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
(愛称:ぶつくる一丸)  
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112